

平成18年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により平成18年度佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、所定の推薦書（事務局宛ご請求ください）によりご推薦くださるようお願いいたします。

項 目	溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞
授賞対象	平成18年1月から12月までの期間中に溶接学会論文集に掲載されたすべての論文が審査対象となりますので、推薦は不要。	多年にわたり溶接技術の開発または応用・普及に関与し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著なもの。	ガス炎を利用した溶接・切断、工作等及び溶接技術全般に関し研究開発並びに実用化についてその業績顕著なもの。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げたもの。
候補者資格	本会会員	本会会員	本会会員	本会会員に限らない
推薦者資格	本会会員			
推薦手続	<p>次の事項を記載した文書（所定の書式）6部（1部正、他はコピーでよい）を学会長宛に提出する。</p> <p>イ. 候補者の氏名、職業又は勤務先及び勤務先における役職名口、候補者の略歴</p> <p>ハ. 賞を受けんとする業績の詳細（裏付けとなる資料を添付）</p> <p>ニ. 推薦者の氏名及び連絡先</p> <p>溶接学会業績賞については、賞を受けんとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。</p>			
推薦書提出期限	平成18年12月31日			
授賞年月日	平成19年4月19日（第75回通常総会）			
その他	<p>多年にわたる業績をお考えください。年齢に制限はありませんが、溶接に通算15年以上関与したことを原則とします。</p> <p>またその業績には公的なる活動が含まれていることが望ましい。</p> <p>業績については詳細に述べ、十分な裏付け資料を添付するようにしてください。</p> <p>佐々木賞が、多年にわたる業績（功労）を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。</p> <p>特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付してください。</p> <p>第1部門 溶接・接合、熱加工プロセス及び機器</p> <p>第2部門 制御、システムの工学・技術及び組立実装技術</p> <p>第3部門 材料及び溶接・接合性</p> <p>第4部門 材料・製品の強度・破壊と設計</p> <p>第5部門 施工・管理及び品質保証・品質管理</p> <p>第6部門 新領域・境界技術</p>			



平成19年度会員会費の口座引落日のお知らせ

及び会費自動振替制度ご利用のお願い (郵便局口座のご利用も可能になりました)

本会では事務の省力化のため、金融機関預金口座振替システムを利用した「会費自動振替制度」を実施しております。現在この制度を利用されている会費は個人会員(学生員, 正員)の31%です。より多くの会員のご利用をお願いいたします。会員会費の納入方法を口座引落としされている方の平成19年度会費の口座引落日及び会費は次のとおりです。ご準備くださいますようお願いいたします。

口座引落日：2006年12月25日(月)

平成18年度正員会費	10,000円
平成18年度学生員会費	5,000円
平成18年度賛助員会費	40,000円×口数

今回、未納会費のある方は、平成19年度会費とあわせて引き落としさせていただきます。

引き落としされますと通帳に「MFS(ヨウセツカイヒ)」(個人会員の会費の略)と記入されます(お取引金融機関により多少異なる場合もあります)。

領収書は経費節減のため発行いたしません。発行を希望される方は、引落とし事務終了後領収書を送付いたしますので、事務局までお申し出ください。

口座引落としについての問い合わせ先：会員担当
引落口座の変更等は10月末日までにご連絡下さい。

平成19年度春季全国大会シンポジウム基調講演の募集について

本会では、毎年、春季講演大会において、溶接・接合工学に関する特定の課題について、シンポジウムを開催しています。来る平成19年度春季全国大会においては、下記の主題の下、シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムをより実りのあるものとするため、基調講演を広く募集いたします。

会員各位におかれましては、奮ってご応募下さいませよう、お願い申し上げます。

1. 主題：溶接・接合工学におけるビジュアル化の最前線
－「見える」溶接工学「創る」溶接技術－

2. 座長：小溝裕一（大阪大学）
田中 学（大阪大学）

趣 旨：局所加熱・溶融・凝固・冷却という一連の過程をたどり接合部を形成していく溶接・接合プロセスでは、投入したエネルギーがどのような熱源として発生し、その熱源からどのようにして材料にエネルギーが伝達され、そのエネルギーが材料中をどのように輸送されるのか、そうして残されたエネルギーがどのような形態を成して消費されるのか、という溶接・接合プロセスの中で最も基本的でありながら、そのひとつひとつで観察される現象が極めて複雑であるとともに相互に干渉しているため、未だ不透明な部分が数多く残されている。これら溶接・接合プロセスにおいて観察される現象を定量的に「見える」形で現すことは、溶接・接合現象の理解を深めることはもちろんのこと、溶接・接合部の形状や状態、さらには特性や性能等を高い信頼性の下に予測・制御する上で極めて重要である。

そこで本シンポジウムでは、近年の進歩が著しいコンピュータシミュレーション技術を中心に、溶接・接合工学におけるビジュアル化の最前線を取り上げ、プ

ロセス、材料、力学・設計、施工・管理の4つの視点から、生じる現象が定量的にどこまで「見える」ようになったのか、「見える」ことによって何が理解され、技術開発や品質管理にどのように役立てられるのか、という観点で検証し、今後の溶接・接合工学におけるビジュアル化の意義と指針を議論したい。なお、本シンポジウムは、平成19年度春季全国大会フォーラム「溶接冶金現象のその場観察の現状と課題」と連携したものである。

3. 日 時：平成19年4月18日（水）14:00～17:00

4. 場 所：日本教育会館（東京）

5. 基調講演申し込み方法

任意の用紙にタイトル、著者、アブストラクト、連絡先をご記入の上、学会事務局に提出下さい。

6. 申し込み締め切り日：平成18年11月15日（水）

7. 講演採否

申し込みいただいた講演は、採否決定次第、お知らせいたします。

8. 前刷原稿提出期日：平成18年12月28日（木）

採択された講演は、溶接学会論文集第1号（2月号）に前刷りを掲載いたしますので、所定のオフセット原稿用紙6枚以内（表、図、写真を含む）の原稿を作成し、ご提出下さい。なお、講演時間は1件20～25分程度を予定しています。

9. 討論・質問の申し込み

講演前刷りをご覧いただいたうえで、討論および質問を募集いたします。積極的に参加いただくことを期待します。

討論・質問の希望者は、対象講演と質問内容を簡潔に記載し、平成19年3月8日（木）までに、学会事務局あて、ご提出下さい。